

# 伊勢市地域福祉計画・活動計画に関するリサーチおよびコミュニケーション

- ・七竹会、いきいきサロン「隣組」、柿の木会
- ・第13回伊勢市社会福祉大会へ参加
- ・あわのコスモス会、大世古ふれあいサロン、仲良し会、豊浜東まちづくり協議会
- ・江いきいき会、早修学区老人会食会、もみじふれあい食事会、いきいきサロン有
- ・宅老所もんちゃん、どんぐりの会、宅老所いきい、子育てサロンれくびよ、きらりっこ
- ・DKサロン、五峰わかば会、上篠ニコニコサロン、サロンさくら、サロン小亀、南本町倶楽部、集いの場みやがわ、修道健康友の会、ふれあいサロン進修、黒瀬おたっしやサロン、

2017

8

9

10

12

1

2

## ◆今年度の活動を振り返って（成果と課題）

**私たちは、** 今回のCLL活動で、様々なことを学びました。その中で、特に気になった課題や出来事をまとめます。

まず、伊勢市の伊勢神宮の近くにあるサロンにお邪魔した時のことです。そこでインタビューをした際にこんな意見ができました。それは、「この地域では、伊勢神宮があるおかげで観光客が多くにぎやかではあるけれど、交通事故の心配はもちろんのこと、公共のバスなどの数が観光客の増加により徐々に少なくなっているの、車が運転できない高齢者にとっては、買い物や病院にすらいけない状況です。また、タクシーという手段もありますが、年金しか収入がない私たちにとっては、厳しいものがあります。伊勢市の行政は観光客を利用して地域復興をしているけれど、まずは、住民である私たちのことを第一に考えてほしい。」というものでした。

また、伊勢市北浜地区の「宅老所もんちゃん」というところにお邪魔させていただいた時のことです。そこでインタビューした際は、「ここに来るといろんな人と話せて、いろいろな刺激をもらえるから楽しい。」という意見もありましたが、逆に、「災害避難場所が階段やはしごを登らないと安全なところへ行けない」や「地元の若者が、どんどん都会に出ていくから、地域の高齢化が進み、高齢者だけでは、生活できなくなってきている。だから、地域にももっと若者が働ける場所を作ってほしい。例えば伊勢は、伊勢エビや真珠のほかにアオサなどの海藻類もいいものがたくさんできる、それをPRするための支部を作って、そこに若者を雇うようにしたらいいんじゃないか。」という意見も出ました。

また、ある事業所では、「一人暮らしをされているお年寄りでいつも参加されている方が、参加してなかったら、連絡し私たちは、て安否も確認できる。」という意見が出ました。



### 特にアピールしたいポイント

- \* 公共のバスが少ない
- \* 避難場所に行くことが困難
- \* 安否確認ができる。



### 実施主体様の声

- \* 参加されている方が、生きがいとしてくれるのでうれしい。
- \* 高齢者の安否確認ができる
- \* 小学生などの孫世代とボランティアという形でふれあえる。
- \* どうしてもこもりがちな高齢者の方と軽い運動などができる



活動実施主体：社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会  
担当教員：山路 克文(現代日本社会学部)